

「10年後のありたい姿」は

一人ひとりが“特別好きな＝推し”余暇活動で自身と次世代の笑顔溢れる豊かな生活をつくり、このことが誇りや愛着、新たなつながりを生んでいること

です

この「ありたい姿」の実現には、

運動する機会・場が豊富にあり、スポーツ人口が増えている

- 気軽にスポーツに参加できる機会や場がある
- 幅広い部活動の指導が地域に育っている
- 子どもも大人も運動の機会が増え、体力が向上している
- スポーツをとして一人では得られない充実感を得ている

主体的な学びができる場やツールが充実している

- 多分野の市民サークルが活動し、学んだ内容が発信・共有されている
- 文化芸術の鑑賞にデジタル技術が活かされている
- 学びの成果が個人の生活の豊かさだけでなく地域にも還元されている
- この地域で学んだことが幸せの原体験となっている

文化を守ることが地域づくりや次世代育成につながっている

- 文化財についての知識を得られる機会や知りたいことに答えられるしくみがある
- 市民が誇りをもって地域の歴史・文化の価値を発信している
- 文化財が市民共通の財産として次世代に継承されている

活動を通じて、新しいつながりが生まれる

- 活動や学びを通して、人とのつながりが広がっていく
- 祭りなどの地域活動で子どもと大人がつながっている
- 一緒に活動する仲間ができている
- 異なる分野の活動を知り、新しいことを始めるキッカケになる

の実現が必要です

【ワークショップの概要】

- えんぱーくやユメックスアリーナなど、学びやスポーツの場は整備されており、活動人口は増えつつある(ユメックスができたことでスポーツ人口が延べ7万人増)。
- 部活動の地域移行が議論されているように、地域の文化・スポーツ分野で活躍できる人材が求められている。
- 地域固有の伝統文化やスポーツ体験が市民の原体験やウェルビーイングの形成に深く関わっている。
- 一人ひとりが好きなことを持ち、余暇活動を充実させることは日々のルーティンの活力にもつながる。
- 学びや文化・スポーツ活動を通じて、心身の健康だけでなく、地域づくり・次世代の人づくりにつながる。
- 活動することで人與人、異分野や異世代がつながり、新しい文化が生み出されていく。

